

とよの



議会  
だより

第155号



公共施設の再編・学校の跡地利活用など  
しっかり取り組んでまいります

令和7年(2025年)11月25日発行

# 議会新体制

## 就任あいさつ



議長 長 永並 啓

晩秋の候、住民の皆さまには益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、議員全員のご推挙により、再び議長を務めさせていただくことになりました。

これからの4年は、豊能町の未来を左右する極めて重要な期間です。

公共施設の再編や学校跡地の活用など、町の50年先を見据えた判断が求められます。

令和8年4月には小中一貫校が開校を迎えます。子ども達の未来に繋がる特色ある教育を実現していく必要があります。

また、交通問題も重要な課題です。10月にはカーシェアリング制度の説明会を開催しました。免許を返納された方や車を持たない方が困らないように、地域で車を所有し、使用する仕組みを住民の皆さまと一緒に広めていきたいと思っています。

ライドシェア制度の規制緩和についても、他市町村と連携しながら国に働きかけていきます。

これからの4年は、過去に一区切りをつけ、未来へと歩み出す大切な時期になります。

議会の存在意義も問われています。投票率の低下は、行政迫認的な姿勢と情報発信不足が影響していると考えます。前回の議長就任時に掲げた政策提言については、これまで6件を提出しました。

個人質問では進まない案件も、議会として提言すれば前向きに検討されることが多く、今後も議員全員の議論が欠かせません。この2年間で政策提言を当たり前に行う体制を整え、健全な二元代表制を確立していきます。

また、議会の情報発信も強化します。本会議や委員会、報告会の動画配信を行っています。視聴はまだ少数ですが、インターネットを活用し、住民の皆さまの声を反映できる仕組みを広げます。

今後も中川副議長とともに、町の発展のため尽力してまいります。

皆さまのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



副議長 中川 敦司

秋の深まりが感じられる季節となりましたが、住民の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととご拝察申し上げます。

このたび、議員各位のご推挙により、再び副議長に就任させていただくこととなりました。

現在、豊能町におきましては、少子高齢化により、人口の減少が顕著となっています。人口減少の問題は、空き家の増加を引き起こすとともに、空き家の劣化や、庭の草木の放置などによる住環境の悪化を招く可能性があります。

そして、人口の減少は、豊能町の税収の悪化を伴います。地方交付税や基金の取り崩しに頼る構造となっています。

さらに、人口の減少だけでなく運転手の減少により、公共交通の減便などを引き起こし、地域の移動手段の確保も大きな課題となっています。

また、西地区の公私連携幼保連携型のこども園の開設、学校再編による小学校跡地の活用や、豊能町の人口増加時期に建設された公共施設が老朽化してきており、公共施設の再編も必要となっております。特に、東地区の公共施設再編が先行しており、基本設計の内容を決定していかねばならない時期にも差し掛かっています。このように早急に解決しなければいけない課題が山積しております。

これらの課題の解決を図るために、議会としてもしっかりと議論を行い、豊能町の進む方向をチェックしていくことは当然ですが、議会も行政に対して協力していくことも必要となってまいります。

このようなことから、私のこれまでの8年間の議員経験を生かして、各種の課題の解決に向け、議会をスムーズに運営できるように、永並議長をサポートしてまいります。今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





## 総務建設常任委員会

委員長

池田 忠史

改選後に開催された10月会議において、総務建設常任委員長に選任されました。よろしくお願いいたします。

総務建設常任委員会では、主に総務部・都市建設部に関する事項を所管しています。

四半世紀にも及ぶ豊能町の最大の懸案事項であったダイオキシン問題は、来年度初めに解決の目途が立っていますが、当委員会においては、総務部門では、少子高齢化による人口減少やそれに伴う税収の減少・空き家問題・東西地区の公共施設再編・公共交通問題など、都市建設部門では、農業従事者の高齢化による担い手不足・義務教育学校開校による空き校舎

の活用などの問題・課題が山積しております。

また、昨年には地域の活性化を目指し、市街化調整区域内にある一部の指定路線においては開発行為の緩和も図られました。ところが、これからといったところです。

今後、これらの問題・課題の解決に向けて取り組んでいくこととなります。委員一同、全力で取り組んでまいります。

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

委員長 池田 忠史

副委員長 西 美江

委員 高野 光一

委員 才脇 明美

委員 中川 敦司

委員 秋元美智子

## 福祉教育常任委員会

委員長

寺脇 直子

この度、福祉教育常任委員会の委員長を務めさせていただきますことになりました。

福祉と教育は、市民の皆さまの暮らしに最も身近で、そして将来に大きくかわる重要な分野です。

委員会では、子どもから高齢者まで、すべての世代が安心して暮らせるまちづくりのため、様々な課題に丁寧に向き合いながら、議論と提案を重ねてまいります。

来年度には、豊能町で初めてとなる「小中一貫義務教育学校」の開校が予定されています。

地域と学校が力を合わせ、子どもたちが安心して学び、夢を育む新しい教育が始まります。

その実現に向けて委員会としても支援してまいります。

また、教育と福祉の連携は、子どもの健やかな成長を見守り、高齢者や障がいのある方の生活支援など、地域全体の支え合いにもつながります。「誰もが安心して暮らせるまち」「人のつながりが温かいまち」を目指して、これからも市民の皆さまの声を大切に、笑顔とやさしさ溢れる町づくりに努めてまいります。

委員長 寺脇 直子

副委員長 内田 香織

委員 林 和利

委員 菅野英美子

委員 永並 啓

委員 小寺 正人

## 議会運営委員会

委員長

秋元美智子

この度、改選後の10月会議におきまして議会運営委員長に就任いたしました。

議会運営委員会は、12名の議員で構成される議会を円満、かつ効率的に運営するために置かれた委員会であり、議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を帯びた機関となっています。

その権限は、一、議会の運営に関すること

「会期・会議日程・提出議案の取り扱い・付託・一般質問の取り扱い・委員会の構成・特別委員会の設置」など

二、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関すること

三、議長の諮問に関すること

①調査を行うこと  
定例会議などの運営の在り方・一般質問の運用・請願や陳情の付託等の取り扱いなど議会運営全般にわたる基本的事項について。

②審査を行うこと  
議会の運営に関する議案・請願や陳情などであります。

これまでの経験を生かし、永並議長と力を合わせ議会運営に取り組んでまいりますので、町民皆さまのご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

委員長 秋元美智子

副委員長 菅野英美子

委員 林 和利

委員 高野 光一

委員 才脇 明美

委員 寺脇 直子

# 新議会スタート 令和7年9月30日

新議員の連絡先と抱負を議席番号順に紹介します。

※住所、連絡先の掲載内容は、各議員の意向によるものです。



たかの こういち  
**高野 光一**

連絡先

光風台6丁目10-9  
☎072-738-1047  
☎090-6552-3230  
winered1759@yahoo.co.jp

私は初めて議員に当選しました。学校給食費の無償化、公共交通の充実、補聴器購入補助の実現を目指してがんばります。



にし みえ  
**西 美江**

連絡先

東ときわ台8丁目1-7  
☎070-8359-1571  
nishimie1130@gmail.com

魅力溢れるまち豊能町。住民の皆さまと共に、もっと素敵にまちづくり。多くの住民の皆さまと会話し、皆さまの声を届けます。



いけだ ただし  
**池田 忠史**

連絡先

木代734-1  
☎072-739-0025  
☎090-1587-0239  
iket125@yahoo.co.jp

2期目も1期目同様、住民の皆さまと一緒に、豊能町に住んでよかった、住んでいたいと思えるような町づくりをしていきます。



うちだ かおり  
**内田 香織**

連絡先

ときわ台1丁目  
uchidakaori2025@gmail.com

少子高齢化の豊能町だからこそ「子育てしやすい町、みんなが一緒になって子育て世代を応援する町」をめざします。



さいわき あけみ  
**才脇 明美**

連絡先

切畑  
☎072-739-0766  
saiwaki.akemi@gmail.com

現場に出向き、声を聴き、必要ならば立ち止まり、間違いは正し、確実に前進します。「当たり前の幸せ」を次の世代に手渡します。



はやし かずとし  
**林 和利**

連絡先

光風台2丁目2-15  
☎072-738-6263

少子高齢化や人口減少、地域の活性化など、さまざまな課題解決のため、住んでよかった町・豊能町を実現してまいります。



え な み けい  
**永並 啓**

連絡先

新光風台5丁目3-1

☎ 072-736-0007

カーシェアリングなど住民の皆さま自身も参加する新しい行政サービスの実現。政策提言をルール化し、機能する二元代表制の実現。



なかがわ あつし  
**中川 敦司**

連絡先

東ときわ台8丁目21-8

☎ 072-738-7511

豊能の豊かな自然を活かし、人を育み、産業の活性化を図るとともに、住環境の整備を進めることで、活力ある町づくりを目指します。



こでら まさと  
**小寺 正人**

連絡先

新光風台3丁目24-6

☎ 072-736-1243

koderamasato@ares.eonet.ne.jp

小学校跡地域には私立の工業高等専門学校のような誇りを持てる施設の誘致などができないかと考えてきました。実現させたい。



てらわき なおこ  
**寺脇 直子**

連絡先

希望ヶ丘3丁目5-13

☎ 072-739-3581

naoko0422p@gmail.com

豊能町の輝く未来のために、住民目線で、賑わいのある住み良い町づくりを目指し、地域の課題解決に取り組みます。



あきもと みちこ  
**秋元 美智子**

連絡先

新光風台5丁目30-4

☎ 072-738-5104

michi19512005@gmail.com

豊能町の高齢化率は50%を越えました。住んでよかった町に向けて住民皆さまの想いを町政へと、足元の活動に努めてまいります。



すがの えみこ  
**菅野 英美子**

連絡先

新光風台2丁目6-2

☎ 072-738-6054

emiko20sugano77@gmail.com

住民の皆さまの声を聞き、子ども達の笑顔が輝く町、高齢者が生きがいをもって暮らせる心の通った町づくりを目指してまいります。

## 各 関 連 機 関 選 出 議 員

大阪広域水道企業団議会	永並 啓
都市計画審議会	池田 忠史 西 美江
民生委員推薦会	寺脇 直子 内田 香織

猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会	高野 光一 菅野 英美子 小寺 正人
豊能郡環境施設組合議会	池田 忠史 才脇 明美 中川 敦司 寺脇 直子 秋元 美智子



# 7 月会議報告

令和7年7月24日

40 号議案	令和7年度 一般会計補正予算（第4回）	小中一貫校施設整備事業、東地区整備工事の一部を令和8年度に繰越すものです	全員賛成 可決
--------	------------------------	--------------------------------------	---------

# 9 月定例会議報告

令和7年8月27日～9月11日

令和7年9月定例会議は、8月27日から9月11日までの16日間の日程で開催しました。提出された案件は、19件（報告2件、人事2件、条例改正6件、条例廃止1件、補正予算2件、決算認定6件）でした。関係案件は、各常任委員会・決算特別委員会で審査したのち、本会議で採決しました。また、人事案件は初日に、議会議案は最終日に審議・採決しました。

報告			
7号報告	令和6年度一般会計予算継続費精算報告書報告	令和2年度からの小中一貫整備事業の継続費精算報告です	
8号報告	健全化判断比率及び資金不足比率報告	「健全化比率について実質赤字比率はない」「下水道事業会計についても資金不足は生じていない」との報告がありました	
条例改正			
43号議案	町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例改正	公職選挙法施行令の改正に伴い、選挙運動用ビラ等の作成の公営に要する経費に係る限度額を引き上げるものです	全員賛成 可決
44号議案	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び豊能町職員の育児休業等に関する条例改正	国家公務員の休暇制度が改正されることに伴い、当該改正に準じた改正を行うものです	全員賛成 可決
45号議案	豊能町ふるさとづくり基金条例改正	寄附を積み立てるにあたり活用できる事業を明確にするため、所要の改正を行うものです	全員賛成 可決
46号議案	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例改正	子ども・子育て支援法等の改正に伴い、当該条例についても所要の改正を行うものです	全員賛成 可決
47号議案	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例改正	厚生労働省で定める基準に準じ、当該条例についても所要の改正を行うものです	全員賛成 可決
48号議案	下水道条例の一部を改正する条例改正	災害その他の非常の場合において、他の市町村の指定を受けた指定工事店に排水設備等の工事を実施できるように所要の改正を行うものです	全員賛成 可決
条例廃止			
49号議案	町立老人デイサービスセンター条例廃止	公設によるデイサービス事業の役目を終えたと判断し条例を廃止するものです	全員賛成 可決
補正予算			
50号議案	令和7年度一般会計補正予算（第5回）	主な事業は、環境施設組合負担金（最終処分費用）帯状疱疹ワクチン接種費用・西地区スクールバス購入費等です	全員賛成 可決
51号議案	令和7年度介護保険特別会計事業勘定補正予算（第1回）	地域包括支援センター運営業務委託費です	全員賛成 可決
議会議案			
4号議会議案	特別委員会廃止	スマートシティ事業に係る諸事項の調査を終了したため、特別委員会を廃止するものです	全員賛成 可決
令和6年度決算認定の6件の概要は、「P.8～P.9」に掲載しています。			

令和6年度決算認定の6件の概要は、「P.8～P.9」に掲載しています。



## 人事

第41号議案

教育委員会委員

まわたり ひでのり

馬渡 秀徳さん  
(川西市)

を任命同意しました。

第42号議案

固定資産評価審査  
委員会委員

きだ まさひろ

木田 正裕さん  
(野間口)

を選任同意しました。

## 9月定例会議で賛否の分かれた案件

(○：賛成 ×：反対)

	件名	議決結果	池田 忠史	才脇 明美	中川 敦司	寺脇 直子	菅野英美子	永谷 幸弘	えなみけい	小寺 正人	秋元美智子	高尾 靖子
2号認定	令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×

\*全員賛成の件名については、紙面の都合上、省略しています。 \*議長（えなみけい）は、職責により、採決に参加していない。

## 討論

反対 高尾 靖子

第2号認定 令和6年度  
国民健康保険特別会計

令和6年12月2日以  
降、健康保険証の新規発  
行は終了し、健康保険証  
として利用登録を行った  
従来の健康保険証の新規  
発行を終了することは、  
法律上の義務付けがなく  
任意とされているマイナ  
ンバーカードの取得を事  
実上強制するもので大問  
題だ。

また、資格確認書に関  
するトラブルは絶えず、  
介護を必要とする高齢者  
や障がい者にとって困  
難が解消されていない。  
カードは5年毎に更新  
だ。

健康保険証の新規発行  
を強く求める。

# 10月会議報告

令和7年10月6日

第5号 議会議案	特別委員会設置	議会だよりを編集・発行するため、広報特別委員会を設置 するものです	全員賛成 可決
-------------	---------	--------------------------------------	---------

# 10月会議(第2回)報告

令和7年10月20日

52号議案	附属機関に関する条例改正	地域包括支援センター運営業務委託事業者を選考するため の附属機関を設置するものです	全員賛成 可決
53号議案	令和7年度 一般会計補正予算(第6回)	東地区公共施設再編整備事業の実施設計・工事監理業務に 係る費用を令和9年度まで債務負担するものです	全員賛成 可決



### 訂正とお詫び

議会だより第154  
号P. 9の文中で誤り  
がありました。訂正さ  
せていただきますと  
もにお詫びいたします。  
令和7年度 豊能郡  
環境施設組合 第5  
回臨時会 5月30日  
(金) ●公平委員会委  
員の選任につき同意を  
求めることについての  
「竹越守也氏」は、正  
しくは「竹腰守也氏」  
です。



2日目



1日目

# 令和7年度 決算特別委員会

令和7年9月1日・2日

■二次元コードから決算特別委員会の動画を視聴できます。視聴に伴う通信料は自己負担です。

令和6年度の一般会計歳入は89億4827万円で、前年度に比べて、7・12%増となり、歳出は83億7864万円で13・8%増となっています。

歳入から歳出を引き、さらに翌年度へ繰り越すべき4863万円を差し引いた実質収支は5億2101万円となり、前年度に比べ18・7%増となっています。また、町の財政構造の弾力性を示す経常収支比率は96・4%となり、令和5年度の92・0%と比べ4・4ポイント増となりました。

## 令和6年度一般会計決算

### 総務部

された追加支援金の実績はあったのか。

**問** 住宅流通・多様化促進事業の空き家の掘り起こし、住宅流通の取り組みはどうなっているのか。

**答** 不動産会社と協定を結び、豊能町の物件情報が見られるサイトの作成をしています。

**問** 徳島県と兵庫県から移住されました。なお、介護従事者や交通事業者などへの、就業に対する加算の実績はありませんでした。

**問** 自主避難所環境整備助成事業で自治会に備品代を補助しているが、地域によっては啓蒙活動に特化している所がある。

**答** 申請時には、品目と目的が書かれています。詳しいヒアリングはできていません。

**問** たんぼの家にについて、利用者の減少や施設の老朽化などの課題を挙げているが、今後の方向性について伺う。

**答** 平成3年の開所当初は、学校を卒業した障がい者には行き場がなく、日中活動の場を町が確保してきましたが、法の制定により、障がい者へのサービスが確保されてきたことから、見直しの時期であると判断しています。

**問** 「ふるさと寄附金」は、町内の人が他市町村へふるさと寄附する額と、豊能町への寄附額を差し引きするとどうなっているのか。

**問** 「オレオレ詐欺等の特殊詐欺対策が必要」と課題にあるが、その件数、対策を伺う。

**問** 町内においては、今年1月からの発生件数は7件発生しており、3113万円の被害が出ています。

**答** 対策としては、警察署と連携し、年に一度研修会を開催して啓発して

また、ゼロ円物件を対象にしている会社と協定を結び、固定資産税納税通知書にチラシの同封、住まいの相談窓口のマッチングに対する補助などを行っています。

**問** 移住就職応援事業の応援補助金2件は、どこから移住されたのか。

**答** また、民間企業に就職

り、また、令和7年度からは、自動録音電話機の補助事業も行い、対策を進めています。

**問** 消防広域化事業の通信指令業務共同運用に要する経費7119万円は、運用を開始した6年度限りのものか。また、箕面市への委託料で、共同運用の経費以外に増額となったものはあるのか。

### 生活福祉部

**問** 在宅高齢者支援事業「おでかけくん」は、多くの方が利用されている。台数を増やせないか。

**答** 車の台数・利用回数を増やしてほしいとのこと

意見がありますが、運行協力員の不足や高齢化になっているという課題があります。

**問** 今後、施設利用者や町在住の障がい者に配慮しながら、存続や委託などを検討します。





## 都市建設部

**問** 土木災害予防事業において、令和5年度決算と比較して減額となっている要因は。

**答** 土石流テレメーター保守管理業務の経費を大阪府と折半していましたが、令和6年度から大阪府負担となったためです。

**問** 農業法人設立支援事業において、志野の里の運営団体に法人設立の見込みがあるのか。また、今後も運営補助を続けていくのか。

**答** 現在の直売所は駐車場が狭く、農産物の供給も足りていないなど引き続き改善にむけて支援を続けていく予定です。自立できていないという状況ではありません。

**問** 衛生センターは毎年修繕をしながら使用しており、処理量も減ってきている。いつまで運営を続けるのか。

**答** 非常に老朽化が進ん

でおり、修繕も行っていますが、摂津市からの受入れがあるため費用的にはかなり補えています。今後については、広域化も含めて検討しているところです。



衛生センター

## 子ども未来部

**問** 奨学資金貸与事業について、滞納者の件数について、長期滞納者への対応状況について伺う。

**答** 滞納件数は20件となります。長期滞納者については、弁護士への相談や滞納者への連絡や訪問し、計画書を出してもらうなどの対応を取っています。

**問** 青少年指導員の制度

ができて30年ほど経過したと思うが、現状の35名は適正な人数なのか。事業の見通しについて伺う。

**答** 現状の人数に関しては、青少年指導員会の中でも見直しの声が上がっています。今後、役員会等で検討していき、人数の見直しを図っていきたいと思います。

**問** シートス改修事業について、業務委託料だけで年間5千万円以上かかっており、さらに改修工事等で3500万円かかっている。その前にも多くの修理があった。

今後の考えについて、伺う。  
**答** 今後10年で3億円以上かかる見込みになっていきます。公共施設の再編にはシートスは含まれていませんので、新たな行財政改革の中で、今後、検討していく予定です。  
(全員賛成 認定)

## 令和6年度特別会計等決算

### 国民健康保険特別会計

**問** これまで保険料の滞納者に短期証を発行して対応していたが、現在の対応は。

**答** マイナンバーカードと保険証の一体化に伴い、短期証による対応はできなくなりました。滞納者の対応については、督促状や催告書の送付に加え、納付が困難な状況の聞き取りや関係機関に繋ぐ、また減免・減額なども検討しています。

(全員賛成 認定)

### 国民健康保険特別会計診療所

**問** 大阪府地域医療構想において、直営診療所について、直営診療所に特に求められている在宅医療の推進ということが課題として書かれているが、現在の状況は。

**答** 現在、在宅医療については、内科では往診を行っていませんが、歯科

で行っています。

(全員賛成 認定)



### 後期高齢者医療特別会計決算

**問** 今後も後期高齢者が増えていけば、納付金も増えていく予測になっているのか。

**答** 現時点の人口動向を見ますと、75歳以上のピークは越えたものの、70歳から74歳までの方も多く、しばらくは増加傾向にあります。

(全員賛成 認定)

### 介護保険特別会計

**問** 独居高齢者等見守り事業の実績は。

**答** 令和6年度については、11月からの利用開

始決定となりましたので、6年度末の時点で52件となっています。現在は、138件の決定通知をしており、最終的には150件を目指しています。

(全員賛成 認定)

### 下水道事業会計

**問** 設備の老朽化が進む中、今後も多大な財源が必要となり負担がかかると思うが、国の補助金など計画を立てているのか。

**答** ストックマネジメント事業として今年度も補助金を活用しながら、下水道管渠を調査して改修を進めています。

(全員賛成 認定)

### 決算特別委員会

委員長 永谷 幸弘  
副委員長 小寺 正人  
委員 池田 忠史  
寺脇 直子  
菅野 英美子  
秋元 美智子

## 総務建設 常任委員会



9月3日開会  
委員5名全員出席

議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例改正

(全員賛成 可決)

職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例改正

問 育児休業を取得する場合、給与額を減額して支給することだが、その算出方法は。

答 職員の基本給から、1時間当たりの時給を算出し、取得する時間数分を減額することになります。

基金条例改正

(全員賛成 可決)

問 第2号に規定とする「町長が特に必要と認める事業」とは。

答 第1号に規定する事業に該当しない申し出が企業からあった場合、この条項を適用し、基金に積立て活用していくこととなります。

下水道条例の一部を改正する条例改正

(全員賛成 可決)

問 誰が、「災害その他の非常の場合」を指定するのか。

答 国が激甚災害などの指定をし、その際、この条例が活用されます。

一般会計補正予算(第5回関係部分)

(全員賛成 可決)

問 財政管理事業の業務委託料の増額の理由は。

答 令和2年度末に導入した機器のメンテナンスサポートが終了するため、機器の入替とそれに伴うデータ移行の費用です。

(全員賛成 可決)

## 福祉教育 常任委員会



9月4日開会  
委員5名全員出席

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例改正

問 過去、施設開設の相談などあったのか。

答 現在、居宅訪問型保育事業の相談が1件あり、審査中です。近々、結果が出る予定です。

一般会計補正予算(第1回)

(全員賛成 可決)

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例改正

(全員賛成 可決)

町立老人デイサービスセンター条例廃止

問 利用者は、曜日や時間帯など決まっている。

その対応は。

答 お一人ずつ状況を確認しながら対応したいと考えています。

(全員賛成 可決)

一般会計補正予算(第5回関係部分)

問 スクールバス購入に特定財源はないのか。

答 通学距離が、小学生4km、中学生6km以上の国の基準に満たないことから補助はありません。

(全員賛成 可決)

介護保険特別会計事業勘定補正予算(第1回)

問 地域包括支援センターの運営業務委託は、今後、高齢化率が上がっていくなかで人員体制や休日・夜間の体制の確保を見据えてのことか。

答 現在の体制で、今後の高齢化率増加に対応していくのは難しいと考えられています。民間事業者は様々な事業を展開しており、柔軟な人員体制が確保できると期待しています。

(全員賛成 可決)

## 第11回 スマートシティ 特別委員会

9月5日開会  
委員4名全員出席



令和4年、町は、「豊能町の負担ゼロ」を明言し、スマートシティ事業を約3億9千万円でコンパクトスマートシティ・プラットフォーム協議会(以下「CSPPC」)に全面委託しました。

しかし、議会への詳しい説明はなく、多くの問題が浮上してきたことから、その内容を把握すべく当委員会は、令和5年6月12日から、これまで10回にわたって、町と協議を重ね、予算の信頼性を根本から崩した前町長の責任を問うとともに、効果が薄い事業に対しては、その手法や在り方など提案してきました。

こうしたなか本年3月末、3年間にわたった事業が終了したことから、町に、総括を求めました。

その内容は、スマートシティ事業に取り組んだ経緯をはじめ当時の組織体制から、事業の概要・実績・効果、課題と問題点・今後の方針について触れ、うちハニタスは、町の了解なく宝塚市に貸し出されるなど問題が多いという委託先のCSPPCに契約書や仕様書 request 求めて「企業側の秘密情報に関わる」として拒否されたこと、また「企業版ふるさと寄附金」を予算計上した経緯や、オズワンに対して訴訟を提起したことなど広範多岐にわたっています。

当委員会は、この町の総括をもって一定の役目を終えたのではないかと考え、委員全員賛成のもと第11回をもって廃止を決定しました。

**問** バス事業者からは、「運転手不足が深刻化している中、黒字路線も減便する事態」など意見を聞いています。

**答** 交通体系の維持確保に向けて取り組む

**問** 住民の移動の権利と町の活性化に公共交通の充実が急務だ。公共交通関係者との会議を開催するなど、主体的な取り組みを求めてきたが運行計画等、進捗状況を問う。

**答** ハニスを活用した今後の公共交通計画は

## 希望を持ち暮らせる町政



高尾 靖子



利便性が高まる交通網を

**問** 育児休業している方は切れ目のない保育を望

**答** 制度の改善を

町としては、AIオンデマンドバスの運行について、費用面、乗務員の確保の面から難しいと考えています。交通事業者とは必要に応じて情報交換や意見交換の場を設けており、今後は、地域公共交通の事業者との意見交換を行っていきながら乗務員の確保をはじめとする町内の交通体系の維持・確保に向けて取り組みたいと考えています。

は切れ目のない保育を望んでいます。下に子どもが産まれた場合、上の子ども1年半で退所しなければならぬ制度となっている。切れ目のない保育制度の改善を求めるが、

**答** 制度の見直し実施で来年度の入所から適用

豊能町は保育の必要性の認定基準を規定しており、育児休業の趣旨を踏まえて、育児休業の継続利用は検討課題として認識しています。来年度の入所から適用できるよう、制度の見直しを実施していきます。

## 救急車の適正利用にむけて



池田 忠史



**問** 救急車の利用状況について

**答** 豊能町で救急車の出動状況はどうなっているのか。

**答** 令和4年度から6年度で、4年度は1226件、以下1264件、1342件と年々増加傾向にあります。

**問** 平均すると1日3回の出動となっている。東西1台ずつの配備で問題なく運用できているのか。

**答** 救急件数も増加傾向ですが、出動に支障があるという報告は受けていません。

**問** 消防庁の年齢別データで65歳以上の高齢者が救急車を利用している割合は全国平均で63・3%であった。

**答** 豊能町の利用状況は。令和6年度の出動件数のうち、77%が65歳以上の割合です。

**問** 適正利用のため、救急車の利用に迷ったときの相談窓口があるが、周知できているのか。

**答** 救急安心センターについては定期的な広報紙への掲載や、ホームページ

ジ、イベント等で周知を行っています。

**問** 豊能町内を通る道路の管理について

**答** 一部の道路では、道路や歩道に草木が繁茂し、草刈り等がされていない。道路の管理についての年間計画は。

**問** 町道の除草については年間契約で業者に委託し、年3回行っています。池田土木事務所が管理しており、年1回の除草をしていると聞いています。

救急安心センターおおさか  
＜24時間365日＞  
電話番号 #7119 または 06-6582-7119

小児救急電話相談  
＜19時から翌朝8時まで＞  
電話番号 #8000 または 06-6765-3650

救急安心センター



**問** 令和5年6月の初質問より、今議会で5回目となる。PSA検査の必要性も認識する一方、財政面の課題があることや、近隣市町の実施状況も参考にしながら、対象者や自己負担額、受診できる頻度をどうするかも検討に含め、前向きに進めるとのことだが、機は熟していると考ええるがどうか。

**答** これまでも、前向きに進めていきたいと答弁

## 本との出会いの場の書店を守ろう



なが谷 幸弘



前立腺がんのPSA検査費用の助成について

をしています。それも踏まえまして、令和8年度に総合的に判断します。本との出会いの場として本屋さんを守ろう

**問** 書店は長年、本との出会いの場として、子どもからお年寄りまで多くの人に愛されてきた。

駅前や商店街などにある本屋は、地域の文化の担い手として、重要な価値があると考えている。

一方で店舗数は、2003年に2万880店舗あったものが、この20年間で半減している。また、全国で店舗数が一店舗も

ない市町村は、27・3%となっている。

このような状況を踏まえ、経済産業省は、昨年3月に書店振興を進めるプロジェクトチームを設置した。

本町としての取り組みについて、伺う。

**答** 図書館では、継続購入している雑誌や、書籍の一部についても書店から購入しています。また、小中学校の教科書や教材の図書についても一定数を購入して、町内の書店が維持できるように努めています。



町の書店は文化と知識の貴重なインフラ

## 豊能町でも米の再生二期作を



中川 あつし



米の再生二期作の導入を

**問** 稲作で再生二期作を行っている地域がある。

再生二期作の場合、田植えは1回で、年に2回収穫できるメリットがある。豊能町でも実施できないものか。

**答** 本町におきましては、現在、JA大阪北部管内で推奨している、きぬひかりが再生二期作に適しているのか、現在のところ不明です。そのため、国や農業機構等の実証実

験を注視していきます。

道の駅に関する事前調査事業について

**問** 本年3月の一般会計補正予算で「道の駅に関する事前調査事業」が繰越明許費補正としてあ

がっていたが、この事業の状況は。

**答** 令和7年4月に、豊能町賑わい創出施設整備に係るPFI導入可能性調査業務の公募を行い、

6月下旬に契約をしました。事業者とは、8月に調査計画・基本方針の打

合せをしており、12月頃にサウンディング調査を



稲刈り後にも伸びる稲穂

実施予定です。そして調査内容や書類の作成や公募、サウンディング企業への説明会の実施を行う計画となっています。また、この調査後は、関心のある民間事業者や事業手法、事業費などの整理を行い、リスク分担などの導入可能性の評価を基に、事業手法の選定を行っていく予定です。

**問** この事業の結果は、いつまとまるのか。

**答** 令和8年3月の上旬までには、報告書としてまとめます。

## 南河内の5市町村が 合併協議会開催



小寺 正人



南河内地域の5市町村  
合併前提の協議会

**問** 千早赤阪村、河南町、太子町、大阪狭山市、羽曳野市と大阪府が合併を前提に入れた協議会を立ち上げて、5月28日に第一回協議会が開催されたと報道があった。

毎月、町村長の会合で協議会の内容などの情報は共有されているのか。

**答** 大阪府の市町村部局からも一定情報は頂戴しています。

**問** 財政力の脆弱な豊能

年度別合併件数				
	件数	合併関係市町村数	市町村数	
			前年度末	当年度末
H11年度	1	4	3,232	3,229
H12年度	2	4	3,229	3,227
H13年度	3	7	3,227	3,223
H14年度	6	17	3,223	3,212
H15年度	30	110	3,212	3,132
H16年度	215	826	3,132	2,521
H17年度	325	1,025	2,521	1,821
H18年度	12	29	1,821	1,804
H19年度	6	17	1,804	1,793
H20年度	12	28	1,793	1,777
H21年度	30	80	1,777	1,727
H22年度	0	0	1,727	1,727
H23年度	6	14	1,727	1,719
H26年度	1	2	1,719	1,718
計	649	2,163		

※H24年度及びH25年度は、合併なし

年度別合併件数（総務省）

町も近い将来、合併も避けられないと思う。

準備をしていかないといけないと思うが。

**答** いつの時代でも行政の効率化、行政サービスの平準化を図るためには基礎自治体の垣根を越えた広域化を進めていくことが大切と思っています。

### 全国学力テストの結果

**問** 全国学力テストの結果が公表された。大阪の成績が悪かったと報道されている。本町の結果はどうだったのか。

**答** 令和7年度の全国学

力・学習状況調査は4月に実施されました。

結果、小学生では国語算数・理科ともに全国・

大阪平均も下回りました。中学生は国語・数学はほぼ全国平均、理科は全国平均を下回っています。が、大阪府平均を若干上回っています。

**問** 本町は教育力日本一を目指してきたのでは。

**答** これからの時代を生き抜くために必要な資質や能力を培い、豊能町を愛し、誇りをもってもらうことが教育力日本一と考えています。

## 学校選択制の導入を



すがのえみこ



議会での意見は  
反映されていない

**問** 令和2年10月議会で

学校再編の補正予算は、条件付き賛成の議員も含めて僅差で可決した。

「子どもを持つ家庭の大胆な増加策と東西どちらの学校にも通える選択」

この条件付きの賛成討論が掲載された「議会だより」を春先にこども未来部に渡していたが、7月

10日の教育委員会会議でこのことには一切触れられていなかった。

「地域と共にある学校」と5人の委員が決めたように思った。議会での意見を伝えなかった理由は、

もいるが、どこの学校に通うのか」などの審議会の意見も教育委員会会議でなぜ伝えなかったのか。

**答** 議会の意見があったことについては、認識不足、配慮が足りない部分がありました。大変申し訳なく思っています。

**問** 通学区域審議会の意見は

反映されているのか

5月29日の通学区域審議会で「東能勢中だと女子の部活は卓球と陸上しかない」「私立の学校に通うというケースも聞いている」「西地区からふたば園に通っている人

きたいません。

令和7年9月11日

豊能町教育委員会教育長 板倉 忠 穂

豊能町議会議長 永並 啓

「学校選択制」導入についての提言書

平成30年度当初予算で、ひとつの小中一貫校を整備するための「小中一貫教育等推進事業費」が可決された。

その後、町長が代わり、令和2年度当初予算では、豊能町の東地区・西地区それぞれに小中一貫校を整備する「小中一貫校整備関連事業費」が提出された。

しかし、1小1中を目指してきた教育委員会と、2小2中を進める町長との間で意見が一致していなかったため、議会は否決した。

その後、町長と教育委員会との協議を経て、同年10月会議で関連事業費を計上した補正予算が議会で可決され、東西に小中一貫校を整備することが決定した。特に留意すべきは、可決の背景である、通学区域の学校に「クラス替えが可能な学校に通わせたい」という保護者の声を踏まえ、通学区域を固定せず、どちらの学校でも選択できる制度を条件に賛成した議員が2名いたことである。

令和2年12月定例会の一般質問では、議員から八王子市で実施されている「学校選択制」が紹介された。これに対し、当時の教育長は「通学区域審議会でも議論していく」と答弁したが、その後、審議会や教育委員会でも議論が行われた形跡は確認できない。

令和8年4月から義務教育学校が開校する。東地区は小規模校、西地区は中規模校であり、それぞれ特徴のある学校となる。これらを自由に選択できる「学校選択制」を導入することは、子どもたちにとって大きな意義がある。

以上の経緯を踏まえ、東西いずれの学校にも通学できる「学校選択制」を導入することを提言する。

議会から「学校選択制」導入の提言



## 安心安全なまちづくり に向けて



寺脇 なお子



### 道路の整備について

**問** 道路の整備はどのような位置づけにあるのか。

**答** 交通量の多い幹線道路から舗装修繕を実施しており、住宅地の街区道路まで修繕が至っていないのが現状です。

住民の通報、パトロールを受け個別に対応しています。

### 遠方地域のスクールバスの導入について

**問** 遠方地域の児童生徒のスクールバスの導入に



住宅地内の街道路路の整備について

ついで伺う。

**答** 新光風台のまちづくりを考えた場合、通学が遠くなることからスクールバスを導入します。

### 持続可能なまちづくり にむけて

**問** 現在、財政調整基金を取り崩して財政運営をしている。持続可能なまちづくりに向けてどのような取り組みなのか。

**答** 本年7月に策定した新たな行財政改革推進計画に基づき、行財政改革を進めていきます。

### 自治体施設・インフラの 老朽化対策について

**問** 国は公共施設適正管理推進事業で令和7年度に公共施設の集約化や複合化事業に「集約化・複合化等に伴う除却事業」を新たに創設されている。除却費用を対象とした地方債の活用について検討してはどうか。

**答** 公共施設等適正管理推進事業債は、充当90%、交付税措置30%から50%と有利な地方債であるため、既存施設の除却事業にも活用を検討します。

## 柔軟剤などの香りによる健康被害



秋元 美智子



### 厚岸町では児童・生徒の一割が被害

**問** 近年、柔軟剤など日常生活で使われている香りの強い製品が原因で、頭痛や吐き気、倦怠感など健康被害を発症する香害が深刻化している。

北海道厚岸町の教育委員会がアンケート調査を実施したところ、児童・生徒の約1割が被害を受けていた。

ぜひ、豊能町も学校現場でのアンケート調査を実施すべきだ。



国も啓発している 国のポスター

### 豊能町、国が作成した ポスターで啓発

**答** 学校では、国が作成したポスターを掲示し、自分には快適な香りでも、他人は不快に感じ、体調不良を起こすことがあるなど情報提供や注意喚起をしています。今後も機会を見つけて啓発していきます。

### 早急に、アンケートに よる実態調査が必要

**問** 啓発も必要だが、自分たちが日常的に使っている香り製品によって健康被害で苦しんでいる人がいることを児童・生徒

一人一人に肌で感じてもらうにはアンケート調査が有効である。厚岸町では、アンケート調査によって自分が香害の被害者だったと気付いた児童・生徒もいる。学校は限られた空間だけに香害の被害者、加害者になりやすい。早急に取り組むべきと考える。

**答** 保健の先生方が集まる機会がありますので、学校の状況を聞きながら検討していきたいと思います。



## 次の世代に繋いでいくために



さいわき 明美



機構改革・交通部署の新設を

**問** 持続可能な公共交通を維持するために、町が主体的に政策を設計・運営できる組織体制が不可欠だ。バス・デマンドタクシー・福祉輸送を一元化し、東西別モデルで効率化を図る交通部署を新設し、政策の一元化を進める考えはないか。

**答** それぞれの利用状況の把握、職員の人員不足の中、現時点では、難しいと考えています。



町独自バスのイメージ

**問** ハニタスの車両を有効活用するため、町が主体となって試験運行を。

運転手は町職員に加え、シルバー人材や地域公募で確保するという考えはないか。

**答** 車両の活用方法は、町内で幅広く、有効に利用できるよう検討していきます。

**整形外科医院の誘致は**

**問** 町内から医院がなくなつて以降、誘致に向けて継続的に探しているようだが、開業には至らない。財政危機の中で、町

として、現実的に取り得る支援策や広域連携の方向性はないのか。

**答** 医療機関の開設に係る補助金制度は全国市町村でも実施されています。

本町でも財政状況等も十分踏まえながら、実施について考えていきます。

**道の駅構想・直売所農産物の価格**

**問** 専業農家、兼業農家の作物を区分けし品質や販売ルールを整理していくのか。

**答** 専業・兼業の区別をすることについては考えていません。

## 議会から

### 町へ

### 提言

## スクールバス導入に関する提言

7月24日（抜粋）

令和8年度開校予定の「とよの西学園」は、三つの小学校を併合することから通学範囲が広がり、なかでも新光風台は、従来の2倍、少なくとも40分以上歩くことになります。

通学路のほとんどが照り返しの厳しいアスファルト道路の坂道で、猛暑による熱中症が心配されるなか、日差しを避ける木陰もわずかしきありません。

議会では、かねてより子どもたちが安全安心して学び舎に通えるよう、スクールバスの導入を提案してきました。

教育委員会は、阪急バスの利用を検討していましたが、先般のダイヤ改正等によって現実的に不可能となりました。

以前より、子どもたちは歩いて光風台小学校に通学していました。歩くことは子どもの体力づくりに必要です。あらためてスクールバス導入を求めるとともに、点呼は一か所のほうが確実性の高いことから、スクールバス導入については「光風台小学校」から「とよの西学園」までとすることを提言します。

## 「学校選択制」導入についての提言

9月11日（抜粋）

7年前、平成30年度当初予算で、小中一貫校（1小1中）にむけた整備費が可決されました。その後、町長が代わり、東・西地区それぞれに小中一貫校（2小2中）へと大きく方針が変わりました。

議会は、この予算を否決しましたが、その後、町長は、1小1中を目指してきた教育委員会との協議を経て、再度、2小2中にむけた予算を計上。僅差で可決しました。

このとき2名の議員が「クラス替えが可能な西地区の学校に通わせたい」という保護者の声を踏まえ、通学区域を固定せず、どちらの学校も選択できることを条件に賛成し、さらに令和2年12月定例会の一般質問では、八王子市で実施している「学校選択制」を紹介しました。

これに対し、当時の教育長は「通学区域審議会で議論していく」と答弁しましたが、現在に至るまで、審議会や教育委員会で議論された形跡がありません。

東地区は小規模校、西地区は中規模校と、それぞれ特徴があります。どちらも自由に選択できる「学校選択制」は、子どもたちにとって大きな意義があります。

以上の経緯を踏まえ、東西いずれの学校にも通学できる「学校選択制」を導入することを提言します。

Happy day ええday!! Sports day  
～勝っても負けても輝ける～



9月25日 東能勢小中学校合同運動会

体育大会頑張れないようじゃむいか～  
体育大会はね、頑張らないと Win do 勝年



10月3日 吉川中学校体育大会



マチイロホームページ



スマートフォンで手軽に  
「議会だより」を読んでも  
いただけます

## 令和7年12月 定例会議予定

12月1日(月) 9:30～ 定例会議開会

12月2日(火) 9:30～ 本会議(一般質問)

12月3日(水) 9:30～ 本会議(一般質問)

## インターネットによるライブ録画配信



配信  
中

豊能町議会では、本会議・  
一般質問・常任委員会・議会  
運営委員会・特別委員会もイ  
ンターネットによるライブ・  
録画配信をしています。

## 猪名川上流広域ごみ処理施設組合 議会 第2回定例会 8月8日(金)

### <主な議案>

- 令和6年度歳入歳出決算認定について  
(全員賛成 認定)  
歳入の総額 23億8897万3855円  
豊能町の負担金 1億3568万円
- 財産の無償譲渡について (全員賛成 可決)  
本組合の公有財産(新こうじ橋)を川西市へ  
無償譲渡するものです。

## 豊能郡環境施設組合議会 第6回定例会 8月26日(火)

### <主な議案>

- 令和6年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書の  
報告について  
廃棄物処分施設設置事業費1億874万3千  
円のうち、施設の実施設計や準備工事の一部と  
して、令和7年度に7672万5千円を繰り越  
したものです。

## 編集後記

9月の町議会議員選挙  
では、現職8名と新人議  
員4名が当選を果たしま  
した。

広報特別委員会もメン  
バーが一新しました。

議会は本会議・一般質  
問・常任委員会・議会運  
営委員会・特別委員会の  
ライブ配信、録画配信を  
していますが、紙媒体の  
「議会だより」での発信  
も大切だと思っています。  
議会を身近に感じてい  
ただけるように、わかり  
やすく情報をお伝えでき  
るように6人力を合わせ  
て活動してまいります。

(管野)

### 広報特別委員会

委員長 菅野英美子  
副委員長 秋元美智子  
委員 西 美江  
内田 香織  
林 和利  
高野 光一

この議会だよりは再生紙を使用しています。

大阪府豊能町 議会だより

第155号 令和7年11月25日

この広報誌は、議員6名で延べ5日間編集作業を行い、8,700部作成。1部あたりの単価は21.67円、配達に12円かかっています。16